協同教育研究所「結風」主催　　平成29年6月24日(土)

第5回「協同教育フェスタ」開催のご案内

代表　安永　悟
(久留米大学文学部)

北部九州は漸く梅雨らしい空模様となってきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。お変わりなく、お過ごしのことと思います。

さて、例年7月に開催しています「協同教育フェスタ」を今年も開催します。今回で5回目を迎えます。「協同教育フェスタ」の準備が整いましたのでご案内いたします。多くの皆さまの参加をお待ちしています。参加を希望される方は、協同教育研究所「結風」のホームページから、申込をお願いします。

むろん、これまで同様、当日参加も受け付けます。案内が直接届いていない方も大歓迎です。皆さまとお目にかかれることを楽しみにしています。

研究会の後、情報交換会（懇親会）を予定しています。こちらは準備の都合がありますので、参加を希望される方は下記の期日までに連絡をお願いします。

本フェスタは下記の機関から後援を受けています。関係機関の皆様に、心より、お礼申し上げます。

記

1．日時：2017年7月22日（土）　10時～17時まで

２．場所：久留米大学御井キャンパス　学生会館ミーティング=ルーム3
http://www.kurume-u.ac.jp/soshiki/3/access.html

3．参加資格：初年次教育や協同教育（学習）を初めとした教育一般に関心のある方

4．参加申込：協同教育研究所「結風」のHP（http://yuikaji.me/wiki.cgi）から
お願いします。
（注意）HPからの申込に対しては自動返信になっています。
返信が届かなかった場合は下記「問い合わせ先」までご連絡ください。
返信先のアドレスは小文字でお願いします。大文字になっており、返信されないことがあるようです。

5．参加費　：無料

6．後援：久留米大学比較文化研究所・久留米大学大学院心理学研究科
日本協同教育学会・初年次教育学会

7. 協同教育フェスタの内容

受付　9：30–10：00

(1) 挨拶・導入　10分（10:00-10:10）

a. 内容　：　協同教育フェスタの目的と内容の説明。

(2) 基礎理論と技法　80分 + 休憩15分（10:10-11:45）

a. 講師　：　安永 悟（久留米大学）

b. 内容　：　学び合える支持的・協同的な場づくりを通して、協同学習の基本的な考え方と技法について体験的に学びます。今回はLTDに関連した報告がありますのでLTDの基本についても解説します。また、図表の読み方の指導法としての看図アプローチにも言及します。

(3) 実践・研究報告１　90分（12:45-14:15）

a. 題目　：「LTD based PBL ― 実践のポイントと効果 ―」

b. 講師　：　長田敬五 （日本歯科大学新潟生命歯学部）

c. 内容　：　これまで実施されてきたPBL（問題基盤型学習）に代わる学習方略として考案したLTD based PBL（LTDに基づく問題基盤型学習）は、① 疑問点の抽出と学習項目の決定、② 学習項目に関する自己学習、③ グループ討論と自己学習で得た新たな知識と既存の知識との連結・統合、④ 学習成果の整理と確認、の４段階で構成され、どれも協同学習の理論と方法を基盤とするLTD（話し合い学習法）の効果を前提として実施されます。

今回は、LTD based PBLを実践する際のポイント（留意点）と、LTD based PBLにおける協同作業認識の変化、抽出された学習項目の推移および終了後アンケートの結果等から示唆された効果について報告します。

（休憩15分）

(4) 実践・研究報告２　90分（14:30-16:00）

a. 題目　：「協同学習を基盤とした避難所運営ゲーム（HUG）でめざす
大学生の地域防災・減災意識の育成」

b. 講師　：　牧野典子 （中部大学生命健康科学部）

c. 内容　：　災害は忘れた頃にやってくると言われます。これを教訓に、日本人は昔から自然災害に備える術を伝承しつつ地域で助け合い互いに顔の見える関係を築いて対処してきました。しかし、東日本大震災では津波がそれらの絆を一辺に寸断し、復元不可能なレベルまで一掃してしまいました。被災地はもう立ち上がることができないかもしれないと思った時、仙台市のある自治会が「HUGを使って訓練しておいて本当に良かった」と、避難所生活は事前訓練によっていくらでも快適にすることができることを報告しています。

大学生の地域防災・減災意識を育成する科目を担当している筆者は、5年前から、地域の防災リーダーたちの協力を得て、2科目の授業にHUGを導入してきました。今回は全学部の2年生を対象とする『地域の防災と安全』への導入を紹介しながら、参加者の皆様にもHUGを体験していただきたいと思います。そして、

避難所生活や運営に欠かすことができない「協同の精神（安永，2017）」を育成するために、より良い授業づくりについて話し合いたいと思います。

d. 協力者（HUGカードの読み手兼ファシリテーター）：

鈴木保利、安井史子、田中正純（春日井市安全安心まちづくりボニター）

神村和也（中部大学工学部応用化学科4年、ボランティア・NPOセンター災害対策プロジェクト2016年度リーダー）

田中千尋、藤井琴実（中部大学応用生物学部食品栄養科学科3年、ボランティア・NPOセンター災害対策プロジェクト）

（休憩15分）

(6) 全体交流　40分（16:15-16:55）

a. ファシリテーター　：　須藤文（久留米大学）

b. 内容　：　協同学習に関して、参加者の皆さまが疑問に思っていることや質問したいこと、さらには自分の実践について、参加者同士が自由に交流しながら理解を深めることを目的としています。

むろん、全体交流の場も協同学習の考え方と技法を用いて構成します。協同学習の経験知を高める場としても活用していただきたいと思います。

(7) 事務連絡・閉会　5分（16:55-17:00）

8. 懇親会のお知らせ

研究会終了後、下記の要領で情報交換会（懇親会）を開催します。参加希望者は上記「４．参加申込」と合わせて7月14日（金）までに、協同教育研究所「結風」のHPから申し込んでください。

場所：　久留米大学学生会館2階「欅」　（3階「フェスタ会場」の真下）

時間：　17時30分～19時30分

会費：　4,000円程度

（注意）直前の取り消しには応じかねます。参加されなくても参加費を徴収することがありますので、予めご了承ください。

9. 問い合わせ先

ご不明な点があれば、次までお願いします。

安永悟　yasunaga_satoru@kurume-u.ac.jp

以上